



牧村範康 議員

災害対策の強化について

～ダム誘発地震と放射性物質に対する備えは万全か？～



池田町から敦賀・美浜原発までの距離

近年、地震のメカニズムの解明により、一説によると、近くに根尾谷断層がある最大堤高161mの徳山ダムにも、その水圧により巨大地震が誘発される心配がある。最大貯水量は浜名湖の二倍もあり、万が一が一直下型地震が発生した場合の水害を心配する住民の声が高まってきているが。

町長

池田町の地盤は固いが、様々な想定をして対策を検討していくことが大切。徳山ダムはマグニチュード8.7で設計されているが、仮にひびが入って決壊しても、池田町へ

の到達は二時間以上要する。ゲリラ豪雨と重なる場合も想定し、警戒・避難の在り方を見直していきたい。

敦賀や美浜の原発から、直線で60キロ程の距離にある池田町。仮にメルトダウンした場合その放射性物質飛来に対する影響と対策は。

町長

ことさら不安をあおることではなく、議会も現地を視察研修して住民の皆さんに安心していただけるように、池田町は安全だ、大丈夫だと理解してもらいたい。

揖斐郡に設置される放射線測定機はどのように運用されているか？ホームページでの放射線量の公開も必要だと考

町長

設置後公開していく。また、池田町においてはお茶の関係で継続的に測定されてきた。

被災地に送った一万五千本の備蓄水の補充は出来ているのか。

町長

現状では出来ていない。手配でき次第、補充したい。

街路灯・防犯灯について

LED化の促進と

助成額の増額を！

環境への配慮、ランニングコストを考えると、町内一五二〇基の防犯灯のLED化が必要。新設の場合のみ行政補助が1/3だが、LED化の為の交換費用も含めてせめて1/2補助に増額出来ないか。現状として地区の負担が大きすぎないか。

町長

LEDは、以前より低コストになってきており、LED化を推進し地域の安全を守るためにも仮に1/2にしても町財政上問題ないので、補助率のアップを前向きに検討していく。

南部公園や中学校体育館に備えてある非常用の予備電源設備をすべての避難所に拡大すべきではないか。また、ソーラーのハイブリッド防犯灯も増設できないか。

町長

非常に高価なものではあるが、補助制度を探しながら今後十分に検討していく。



LED防犯灯の点灯前と点灯中（撮影の為、カバーは外してあります）



総合体育館駐車場設置のハイブリッド防犯灯